

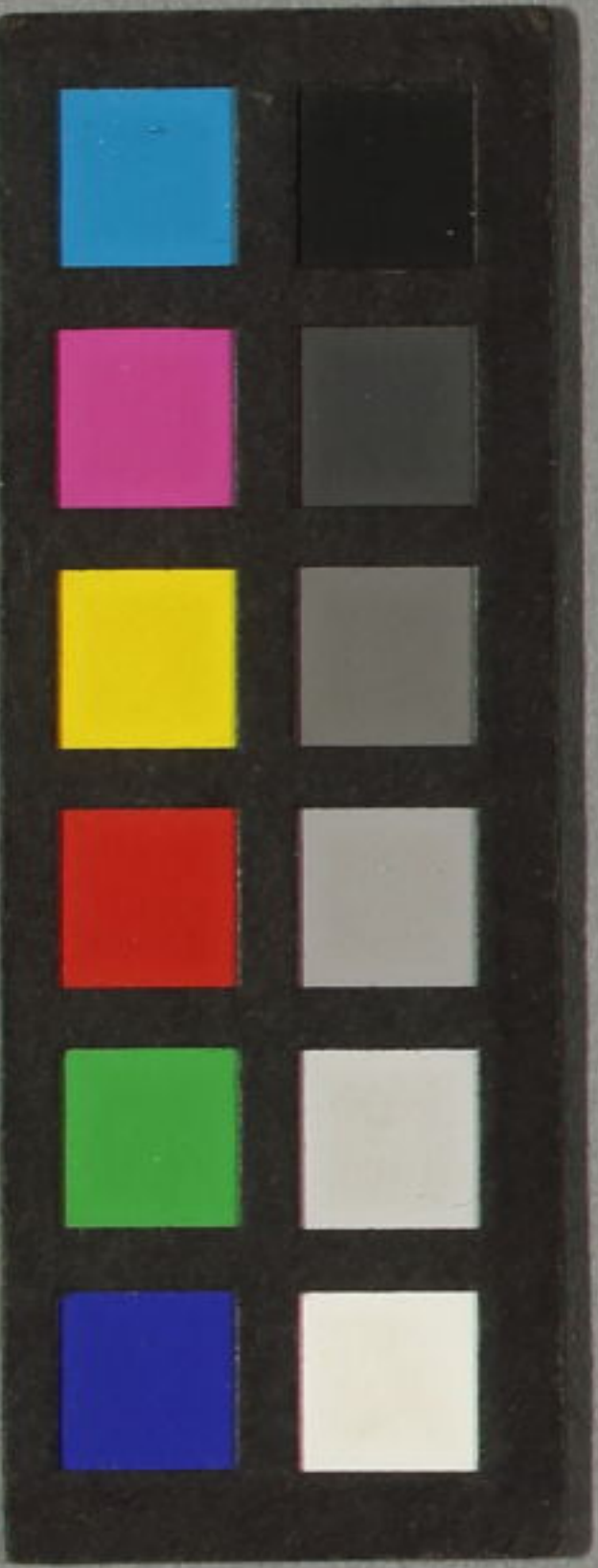
茶煙の外より中をばき月石を分
 月代やつこころいふ人のか
 らせぬぬらふらぬらぬらぬらぬ
 のりすきく膏乃こらほやまの月
 澄きたつ雪を志つめて杖如月
 月挙
 守水
 兼字
 一有
 西翠

人まのむらてゆえるやまののり
 月くす才成かそくく状く木のてふ
 名月や身すあつる杭乃傍
 めいろくやあいろそらぬ樹くの言
 湖心
 東臺
 度池

名月や心身うつすか、寂ろろろ
 有節



正身



聖の教

雲林社

